

K A W A K A M I D A M 2007

川上ダム通信 12月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

安全第一に無事故で事業を推進 ～伊賀労働基準監督署と合同で安全協議会を開催～

川上ダム安全協議会では毎月の安全パトロールにより、工事施工中の安全点検を行っています。12月19日（水）に開催された協議会では、労働安全のエキスパートの視点で安全点検を実施すべく、伊賀労働基準監督署長を講師にお招きして、労働安全に関する講話を頂くとともに、現在施工中の付替県道道路工事現場において安全パトロールを実施しました。近年の労働災害の状況から特に「墜落・転落」事故に注意すること、建設業における総合的労働災害防止対策の重要事項であるリスクアセスメントを実施することの重要性について講話を頂いた後、現場における安全パトロールでは熱心な安全指導を受けるとともに講評を頂きました。参加者は労働災害防止に向けて、さらなる取組の充実を進めていく決意を固めていました。川上ダム安全協議会は、今後も安全第一に無事故で事業が推進されるべく、安全協議会活動に取り組んで参ります。

【川上ダム安全協議会事務局 柴田健一】



安全協議会の様子



安全パトロールの様子

伊賀市土木系課長が川上ダムを視察

平成19年12月20日（木）、伊賀市の本庁及び各支所の土木系課長8名の方々が川上ダムを視察されました。川上ダム建設所で川上ダム建設事業概要や今後の工事予定などの説明を受けたあと、ダム建設予定地、オオサンショウウオ保護池や現在伊賀市が進めているハーモニーフォレスト事業などを視察されました。今後も地域との連携を密接に図りながら、川上ダム建設事業をより多くの地域の皆様にお知らせしていきたいと思っております。

【環境課 水野正明】



事業説明及び保護池視察の様子

地域活性化に向けて伊賀市へアイデア提出

平成 18 年 10 月に行った伊賀市青山支所との地域活性化座談会を踏まえて、機構としても地域の活性化に係る自由闊達な意見を提案しようと、川上ダム建設所の職員等に広くアイデアを募集したところ、約 60 点の応募が集まり、このアイデアについては伊賀市青山支所に報告いたしました。その結果、3 つのアイデアについて今後の施設整備、イベント等の運営に参考としたいとの回答がありましたので、応募者に対し表彰を行いました。



授賞された方々

選ばれたアイデアと応募者①「カブトムシ等を飼育すると共に、生物観察を行う。(ビオトープとの連携) 蛭などと合わせて、昆虫の里にする。」 応募者：第一用地課 山口

②「民間的発想で利用客開拓を積極的に図るべき。水機構内で類似する他の施設利用調査を早期に実施し、ヒント探しも必要。」 応募者：町田輝次氏

③「森林組合や木協と連携し、間伐材の工作指導教室を開く。」 応募者：第二用地課：芦田

【環境課 磯野正典】

人権問題研修会・安全運転講習会を開催

平成 19 年 12 月 19 日（水）、木津川ダム総合管理所と合同で人権問題研修会・安全運転講習会を開催しました（於：同総合管理所）。



人権問題研修会の様子

人権問題研修会は、人権問題についての職員の意識の高揚と資質向上の観点から毎年実施しているもので、三重県教育委員会の栢森和重先生を講師にお招きし、職員参加型の、実践的な人権に関する講演を拝聴しました。安全運転講習会は、職員の安全運転意識の高揚と安全運転の徹底を図るため、毎年実施しているもので、名張警察署 北井秀也 交通課長を講師にお招きし、県内、また名張警察署管内の昨今の交通事情等の話を交え、安全運転に対する心構え等を学習しました。

川上ダム建設所といたしましても、この研修会・講習会で学んだことを充分認識した上で、職員一同日々の業務に邁進して参ります。

【総務課 河合佳之】

地域に愛される業務運営を目指して

私たち水資源機構は、「地域の皆様に感動を与える水資源機構であれ」との理念を念頭に、職員の人材育成や組織の改革に日夜取り組んでいます。

この取り組みを確実に実践するため、平成 16 年度から機構の現役員が自ら各事務所を回り、抱える諸問題等の聞き取りを行っています。本年度は 12 月 5 日（月）に青山理事長、押田理事、大藪理事が川上ダムに来所され、事務所で抱える問題の総点検の他、職員の人材育成の観点から、機構組織の在り方や機構の将来像などについて、職員一人一人と熱く意見交換がなされました。



意見交換会の様子

この様に、水資源機構ではダム造りのみではなく、人作りや組織作りにも力を入れており、地域の皆様に愛される現場作りを目指しております。

【総務課長 上村信幸】

川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線5号橋上部工工事

以前、2007年7月号で紹介しました5号橋（仮称）ですが、桁が架かりました。大型クレーンを使って桁をかけるため、まずは大型クレーンを組み立てなければなりません。このクレーンはベースマシンと6台のトレーラーに分解して搬入し、半日ほどで組み立てが完了しました。大型クレーンの存在感は圧倒されるものがありました。桁の架設は、組み立てを含め1日半で完了しました。橋の完成まであと少しとなりました。

沿線の住民の方はもとより、重機が通行することによりご迷惑をおかけいたしました方々、そして、特殊車両通行許可の取得に関してご協力をいただきました方々に、本誌をお借りしまして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

【工事課 金澤佑樹】



大型クレーン組み立て状況
(H19. 12. 21 撮影)



桁架設状況 (H19. 12. 21 撮影)

最終回

ちよつとオオサンショウウオ！

オオサンショウウオの保全対策

川上ダムでは、前深瀬川や川上川に生息するオオサンショウウオへのダムによる影響をできる限り小さくするため、平成8年に専門家で構成する「川上ダムオオサンショウウオ調査・保全委員会」を設置して、委員会の指導助言を受けてオオサンショウウオの生息状況等の調査をこれまで継続して実施してきており、また保全対策についても委員会の検討・提案を得て取り組んでいます。

オオサンショウウオの保全対策として、前深瀬川や川上川に数多く点在する堰のうち、オオサンショウウオが上れず、移動の障害になる堰にオオサンショウウオ用の道を設置したり、オオサンショウウオが生活できる環境を増やしたり、ダムにより水が溜まる区域に棲んでいるオオサンショウウオを移転するとともに、その効果を確認するためにモニタリングを実施することとしています。

干支の最後の亥年ももうすぐ終わり。「ちよつとオオサンショウウオ！」の連載も今回で終わりとさせていただきます。この連載は終わりますが、今後もオオサンショウウオに関する情報を発信していきたいと考えていますので、お楽しみに。

今年一年、お読みいただきありがとうございました。

【環境課長 大村朋広】



平成20年度予算は今年度と比べてほぼ倍増～川上ダム建設事業の平成20年度政府予算案～

川上ダム建設事業の平成20年度予算については、12月24日の臨時閣議において政府予算案として決定されました。予算額は36億円(今年度18.47億円、今年度比約95%増額)であり、ダム本体工事の準備として川の水を切り替える「転流工工事」に着手するほか、付替道路工事の進捗を図る工事費を計上しています。また水理調査、環境調査などを継続するほか、ダム本体の設計費用などを見込んでいます。

今後とも、「淀川水系河川整備計画」の策定など、法手続きが速やかに行われることを願い、来年度には一段と事業進捗を図るよう努めてまいります。

【工務課長 北牧正之】

編集部が選ぶ 2007年川上ダム建設所10大ニュース

- ・淀川水系河川整備計画原案に川上ダムを完成させることが位置づけられる
- ・平成20年度予算 今年度比9.5%増の36億円
- ・環境マネジメントシステムISO14001認証取得
- ・広報コンテスト特別賞受賞
- ・文化勲章を受章された沢田敏男先生が川上ダム建設所に来所、激励をいただく
- ・川上ダム建設促進期成同盟会対話集會に約130名が参加し、川上ダムの建設促進に向け意見表明
- ・オオサンショウウオの会が三重県で開催され、全国から約80名がオオサンショウウオ保護池を視察
- ・三重県警察本部長及び(社)三重県安全運転管理協議会長より優良安全運転管理事業所として表彰される
- ・夏の広報事業で川上ダムのクイズ参加者2000人を突破
- ・地域振興のお手伝い(地域活性化に関する講演会、藤原千方伝説講演会)



第6回

ちかた 藤原千方伝説地探訪

〈血首井〉(雄)

千方将軍らが討ち取った敵の首を投げ込んだ深井戸と言われています。また、千方の霊を怒らせて降雨を祈る雨乞い儀式が伝えられています。血首井は斗蓋ヶ淵の上流に2箇所あり、青山側の甌穴は雄井戸と呼ばれ、日本甌穴九選の一つに数えられています。

※血首井への行き方

近鉄青山町駅から高尾行きバス25分出合下車徒歩1時間40分



血首井(雄)

EVENT

青山高原からの初日の出

例年約500人ほどの人出で賑わう。

○日時／12月31日(月)～1月2日(水)

○開催場所／青山高原(伊賀市)

大村神社初詣

地震、家内安全、開運、厄除けなど御利益。

大晦日及び正月三日間は御神酒、甘酒のサービス有。

(毎年恒例)

○日時／1月1日(火/祝)～1月7日(月)

○開催場所／大村神社(伊賀市阿保)

編集後記

今年も川上ダム通信をご愛読いただき、誠にありがとうございました。来年も皆様に充実したダム通信をお届けできるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治(川上ダム建設所長)

デスク 上村 信幸(総務課長)

〃 北牧 正之(工務課長)

通信記者 立石 浩行(調査設計課)

〃 磯野 正典(環境課)



ISO14001 : 2004
JQA-EM5769

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。この広報紙は古紙配合率100%再生紙を使用しています。◇